



ロバート・ボッシュ GmbH およびロバート・ボッシュ工業信託 合資会社の人事異動

2021年6月24日
PI11359 RB De/af

- ▶ ボッシュの経営責任体制が長期にわたる計画を経て2022年1月1日より新世代に移行
- ▶ フランツ・フェーレンバッハが2021年末に約47年にわたるボッシュでの勤務を終えて監査役会およびロバート・ボッシュ工業信託合資会社(RBIK)を退任
- ▶ シュテファン・アーセンケルシュバウマーが、フェーレンバッハの後任として監査役会会長およびRBIKのジェネラル パートナー(無限責任社員)に就任
- ▶ フォルクマル・デナーが約10年務めた取締役会会長を退任し、ボッシュ・グループの科学顧問として量子テクノロジーの研究に専念
- ▶ [シュテファン・ハルトウング](#)が新たにボッシュ取締役会会長に就任
- ▶ [クリスティアン・フィッシャー](#)が新たにボッシュ取締役会副会長に就任
- ▶ [マルクス・ハイン](#)がモビリティ ソリューションズ事業部門長に就任
- ▶ [マルクス・フォーシュナー](#)が新たに財務担当取締役に就任
- ▶ ヴォルフガング・マルホーがボッシュでの40年の勤務を終えてRBIK および監査役会を退任
- ▶ エーバーハルト・ファイトがマルホーの後任としてRBIKのジェネラル パートナー(無限責任社員)および監査役会メンバーに就任
- ▶ シュテファン・ハルトウング、クリスティアン・フィッシャーおよびミヒャエル・カシュケがRBIKの出資者に

シュトゥットガルト(ドイツ) – ボッシュの経営責任体制は、長期にわたる計画を経て2022年1月1日より新世代に移行します。監査役会会長およびロバート・ボッシュ工業信託合資会社の代表社員であるフランツ・フェーレンバッハが退任し、シュテファン・アーセンケルシュバウマーが後継します。取締役会会長職は、フォルクマル・デナーからシュテファン・ハルトウングに変更となります。デナーは、ボッシュ・グループの科学顧問として量子テクノロジーの研究に専念します。クリスティアン・フィッシャーは、ボッシュ取締役会副会長に、マルクス・ハインは、モビリティ ソリューションズ事業部門長に就任します。新たに財務担当取締役に就任するマルクス・フォーシュナーを含め、ボッシュ取締役会は7人体制となります。ボッシュは、今回の新たな人事により、創業者のロバート・ボッシュが望んだであろう、強力で有意義な会社の発展を継続できる態勢が整ったと確信しています。

ロバート・ボッシュ工業信託合資会社ならびにロバート・ボッシュ GmbH の監査役会および取締役会の人事異動は、2022 年 1 月 1 日付けで発令されます。詳細は、下記の通りです。

フランツ・フェーレンバッハ(71 歳)は、2021 年 12 月 31 日付けで退任し、ボッシュにおける約 47 年の勤務を終えることとなります。同時に、ロバート・ボッシュ工業信託合資会社も退任します。フランツ・フェーレンバッハは、2012 年 7 月 1 日からロバート・ボッシュ GmbH の監査役会会長ならびにロバート・ボッシュ工業信託合資会社のジェネラル パートナー(無限責任社員)および代表社員を兼任してきました。フェーレンバッハは、米国のロバート・ボッシュ・コーポレーション(オートモーティブグループ)やモビリティセグメントのさまざまな事業部の経営管理を含む多様な役職を経て、1999 年にロバート・ボッシュ GmbH の取締役会に加わり、2012 年まで会長を務めました。株主と監査役会は、フランツ・フェーレンバッハの会社への長年の貢献と素晴らしい功績に敬意を表しています。創業家を代表して、クリストフ・ボッシュは次のように述べています。「フランツ・フェーレンバッハのボッシュへの尽力は素晴らしく、約 47 年もの実績については説明するまでもありません。近年は、会社の事業運営のかじ取りを成功させた後に、監査役会会長と工業信託合資会社の代表社員を務め、自らの豊富な経験と優れた洞察力を会社のために役立ててきました」

シュテファン・アーセンケルシュバウマー(65 歳)は、2013 年からロバート・ボッシュ GmbH の取締役会副会長を、2010 年から財務担当取締役を務めました。2021 年 12 月 31 日付けで取締役を退任し、2022 年 1 月 1 日付けでボッシュの監査役会に会長として加わります。2018 年からロバート・ボッシュ工業信託合資会社のリミテッド パートナー(有限責任社員)であったアーセンケルシュバウマーは、今後、共同経営者会のジェネラル パートナー(無限責任社員)兼代表社員となります。アーセンケルシュバウマーは、1987 年に商業研修生としてボッシュでのキャリアを開始した後、部、工場、事業部門レベルでのさまざまな専門職や運営責任、さらには事業部長としての時期を経て、財務担当取締役に就任し、将来を見据えた堅実な財務政策を展開しました。共同経営者会と監査役会は、最近まで長年にわたり取締役会副会長と財務担当取締役を務め、功績を成し遂げてきたアーセンケルシュバウマーに敬意を表し、新たな役割での成功を期待しています。

取締役会の人事異動

フォルクマル・デナー(64 歳)は、ボッシュにおける計 36 年(取締役 16 年、CEO 職 10 年)という長きにわたる功績を経て、2021 年 12 月 31 日付けでロバート・ボッシュ GmbH 取締役会を退任します。これは、再び研究に専念したいというデナーの希望によるもので、量子テクノロジーの分野におけるボッシュの科学顧問となります。ロバート・ボッシュ工業信託合資会社の共同経営者会には、引き続きゲストとして参画します。

デナーは、先駆的な科学研究の知見から最先端のテクノロジーを生み出し、人類に役立てることに常に関心を抱いてきました。たとえば、社内での MEMS センサーテクノロジーの確立に大きな役割を果たしました。ボッシュは現在、自動車市場と消費財市場の両方

において、この分野でグローバル市場をリードしています。量子物理学博士号を持つデナーは近年、人工知能(AI)とモノのインターネット化(IoT)を組み合わせたAI・IoTの可能性を活用できるよう、会社全体の態勢を整えてきました。

出資者と監査役会は、デナーのボッシュにおける数十年の貢献に感謝の意を表しています。「監査役会は、フォルクマル・デナーに大変感謝しています。彼は、経済的効果と技術的先見性に満ちた経営手腕を発揮してくれました。そして、今後の持続可能性への会社の取り組みに関する方針を定め、グループをデジタルの未来に対応できるようにしました。ボッシュは彼のリーダーシップのもとで、早くも2020年2月に世界で初めてカーボンニュートラルを達成した事業会社となり、さらにAIとIoTの分野においても世界的な先導者になりました」と、共同経営者会の代表社員兼ロバート・ボッシュ GmbH 監査役会の会長を務めるフランツ・フェーレンバッハは述べました。また、創業家を代表して、クリストフ・ボッシュは次のように述べました。「創業家は、会社を指導する立場にあるフォルクマル・デナーが、創業者の価値観に忠実であり続けたことに感謝の意を表したいと思います」

シュテファン・ハルトウング(55歳)は、2022年1月1日付けで新たに**取締役会会長**に就任します。同時に、出資者としてロバート・ボッシュ工業信託合資会社に加わります。機械工学博士号を持つハルトウングは、17年間ボッシュに勤務し、2013年からボッシュ取締役会メンバーを務めてきました。2019年からは、モビリティソリューションズのトップとして、ボッシュ最大の事業セクターを率いています。それ以前は、エネルギー・ビルディングテクノロジーや産業機器テクノロジーなどの事業セクターを担当してきました。ハルトウングは、以前に Bosch Power Tools や BSH Hausgeräte で管理職を務めるなど、グループの多くの部門で直接経験を積み、すべての事業セクターにおける製品とサービスのラインナップ全体に精通しています。最近では、モビリティソリューションズ事業セクターの体系的再編に尽力し、未来のモビリティに向けた新たな機会を生み出しています。

クリスティアン・フィッシャー(53歳)は、2022年1月1日付けで**ボッシュ取締役会副会長**に就任します。同時に、ロバート・ボッシュ工業信託合資会社の出資者になります。フィッシャーは、2018年からボッシュの取締役会に加わり、最初はエネルギー・ビルディングテクノロジー事業セクターを担当しました。チーフパフォーマンスオフィサーとして、グループ全体の収益力を体系的に改善するためのプログラムを設計・導入し、成功に導きました。また、2021年7月1日付けで電動工具事業部と子会社の BSH Hausgeräte GmbH を含む消費財事業セクターならびに、欧州、中東、アフリカ、東南アジア、オーストラリア地域における責務を担います。経済学博士号を持つフィッシャーは、他企業の取締役会メンバーを経た後、ボッシュ取締役会に加わりました。

マルクス・ハイン(56歳)は、2022年1月1日付けで**モビリティソリューションズ事業部門長**に就任します。取締役会においては、2015年よりモビリティソリューションズ事業セクターの全世界の販売とマーケティングを担当してきました。さらにハインは、オートモーティブアフターマーケット事業部、コネクテッドモビリティソリューションズ事業部、子会社の ETAS GmbH、そしてボッシュエンジニアリング GmbH も担当しています。ボッシュエン

ジュニアリングには、部門横断の商用車およびオフロード組織も含まれます。機械工学博士号を持つハインは、1999年からボッシュに勤務しています。

シュテファン・アーセンケルシュバウマーの後を継いで**財務担当取締役**(CFO)になる**マルクス・フォーシュナー**(54歳)は、2022年1月1日付けで新たにロバート・ボッシュ GmbH の取締役に就任します。同時に、ボッシュ・グループの**チーフ・パフォーマンス・オフィサー**(CPO)の役目を、クリスティアン・フィッシャーから引き継ぎます。フォーシュナーは、2015年から Bosch Rexroth AG の取締役会メンバーとなり、商務を担当してきました。1996年に管理職研修生としてボッシュ・グループに入社したフォーシュナーは、コンピューター科学と経営学を学び、シュトゥットガルト大学の研究開発マネジメント研究所で博士号を取得しています。

出資者と監査役会は、シュテファン・ハルトウング、クリスティアン・フィッシャー、マルクス・ハイン、マルクス・フォーシュナーの新たな役割における活躍に期待しています。

ロバート・ボッシュ工業信託合資会社およびロバート・ボッシュ GmbH 監査役会のその他の人事異動

ヴォルフガング・マルホー(71歳)は、2021年12月31日付けでボッシュを退任し、同日付けでロバート・ボッシュ工業信託合資会社も退任します。法学博士号を持つマルホーは、2014年7月から RBIK の出資者でした。彼は、2016年から RBIK のジェネラル パートナー(無限責任社員)となり、2012年の初めからロバート・ボッシュ GmbH 監査役会メンバーを務めてきました。共同経営者会と監査役会は、マルホーの功績に敬意を表し、取締役会メンバーおよび労使関係部長としての8年間を含めた40年以上にわたる会社への素晴らしい貢献に感謝の意を表しています。RBIK のジェネラル パートナー(無限責任社員)として、ロバート・ボッシュ GmbH 監査役会において彼の後を引き継ぐ**エーバーハルト・ファイト**は、2019年4月から RBIK に加わっています。彼は59歳のエンジニアで、4.0 Ve IT GmbH の株主および Carl Zeiss AG の監査役会メンバーでもあります。2016年の初めまでは、Festo AG の取締役会会長を務めていました。

シュテファン・ハルトウングおよびクリスティアン・フィッシャーと共に2022年1月1日付けでロバート・ボッシュ工業信託合資会社の出資者となる**ミヒャエル・カシュケ**(64歳)は、カールスルーエ工科大学(KIT)の監査役会会長であり、2016年4月からロバート・ボッシュ GmbH の監査役会メンバーを務めてきました。カシュケは、2020年4月まで Carl Zeiss AG の取締役会会長を務めていました。

2022年1月1日付けで発足する取締役会の構成

ロバート・ボッシュ GmbH 取締役会

シュテファン・ハルトウング	会長(CEO)
クリスティアン・フィッシャー	副会長
フィリズ・アルブレヒト	人事担当取締役(CHRO)

(新)マルクス・フォーシュナー 財務担当取締役(CFO)およびチーフパフォーマンスオフィサー(CPO)
マルクス・ハイン モビリティソリューションズ事業部門長
ハラルド・クローガー モビリティ事業部門内でクロスドメイン コンピューティングソリューションズ、シャシーシステムコントロール、オートモーティブ エレクトロニクスなどを担当
ロルフ・ナヨルク 産業機器テクノロジー事業セクター担当

ロバート・ボツシュ GmbH 監査役会

(新)シュテファン・アーセンケルシュバウマー 会長
Frank Sell 副会長

その他のメンバー

Nadine Boguslawski
クリストフ・ボツシュ
Christian Brunkhorst
Elgar Fleisch
Klaus Friedrich
Mario Gutmann
Jörg Hofmann
(新)ミヒャエル・カシュケ
Renate Köcher
Martina Koederitz
Matthias Georg Madelung
Kerstin Mai
Oliver Simon
Karin Solda
Peter Spuhler
(新)エーバーハルト・ファイト
Richard Vogt
Beatrice Weder di Mauro

ロバート・ボツシュ工業信託合資会社

新たなマネージングパートナー:

シュテファン・アーセンケルシュバウマー(2021 年末までロバート・ボツシュ GmbH 取締役会副会長)
エーバーハルト・ファイト(前 Festo AG 取締役会会長)

その他の出資者

クリストフ・ボツシュ ボツシュ家代表
(新)クリスティアン・フィッシャー 2022 年 1 月 1 日よりロバート・ボツシュ GmbH 取締役会副会長

Elgar Fleisch	ETH チューリッヒおよびザンクト・ガレン大学の情報技術 マネジメント教授
Lino Guzzella	前 ETH チューリッヒ学長
(新)シュテファン・ハルトウング	2022 年 1 月 1 日付けでロバート・ボッシュ GmbH 取締 役会会長
(新)ミヒヤエル・カシュケ	前 Carl Zeiss AG 取締役会会長
Renate Köcher	アレンスバツハ世論調査研究所マネジングディレクター
Peter Spuhler	スイス企業 Stadler Rail AG の大株主および監査役会 会長

ロバート・ボッシュ工業信託合資会社について

RBK は、ロバート・ボッシュ GmbH の株主の事業機能を担っています。ロバート・ボッシュ工業信託合資会社(industrial trust)の役割は、ロバート・ボッシュ GmbH 独自の経営体制に由来します。この体制は 1964 年から実施され、創業者のロバート・ボッシュ(1861~1942 年)の経営理念を守っています。ロバート・ボッシュ GmbH の株式資本の 94%は公益法人であるロバート・ボッシュ財団が保有しており、議決権の大半はロバート・ボッシュ工業信託合資会社が保有し、株主の事業機能を担っています。

報道関係対応窓口:

Melita Delic,
電話: +49 711 811-48617
Twitter: @MelitaDelic

Trix Boehne
電話: +49 30-32788-561
Twitter: @TrixBoehne

世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2020 年の従業員数は約 39 万 4,500 人(2020 年 12 月 31 日現在)、暫定決算報告での売上高は 716 億ユーロ(約 8.7 兆円*)を計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの 4 事業セクター体制で運営しています。ボッシュは IoT テクノロジーのリーディングプロバイダーとして、スマートホーム、インダストリー 4.0 さらにはコネクテッドモビリティに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュは、サステナブル、安全かつ魅力的なモビリティを追求しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループは、AI(人工知能)を搭載する、もしくは AI が開発・製造に関わった製品を提供することで、コネクテッドライフを円滑にすることを戦略目標に掲げています。ボッシュは、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社 440 社、世界約 60 カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売/サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界 126 の拠点で約 7.3 万人の従業員が研究開発に、約 3 万人がソフトウェアエンジニアリングに携わっています。

ボッシュの起源は、1886 年にロバート・ボッシュ(1861~1942 年)がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbH の独自の株主構造は、ボッシュ・グ

ループの企業としての自立性を保証するものであり、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュ GmbH の株式資本の94%は慈善団体であるロバート・ボッシュ財団が保有しており、残りの株式は創業家であるボッシュ家、ボッシュ家の運営企業ならびにロバート・ボッシュ GmbH が保有しています。議決権の大半はロバート・ボッシュ工業信託合資会社が保有し、株主の事業機能を担っています。

*2020年の為替平均レート、1ユーロ=121.8458円で計算

さらに詳しい情報は以下を参照してください。

www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス (英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター (ドイツ語)

www.bosch.co.jp/ ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/Boschjapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube (日本語)